

本文の書体は明朝体。サイズは9pt。1行につき39文字。1段につき31行。従って1段で1209文字。1頁全体で2418字。

本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。

<



図1 キャプションは 8pt ゴシック体
図の下に入れる

図のキャプション8ptゴシック
(英文:サンセリフ) 図の下におく

表タイトル8ptゴシック(英文:サンセリフ)、表の上におく

右余白
23mm

表1 表タイトルは 8pt ゴシック. 図の上に入れる

[illegible]

本文中の引用箇所には、括弧付きの肩付き文字

本文 9pt 明朝体
(英文：ローマン体)

10 — 9pt サンセリフ

見出しの前は1行空ける

表

論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。

見出しはゴシック体・サイズは9pt.

こうした観点から論じようとするものである。本論文は何々についてこうした観点から論じようとするものである。

見出しはゴシック体・サイズは9pt

注 何々については何々である。

注・引用文献・図版典拠の本文は
got. 明朝体（英文：ローマン体）

引用文献

- (1) 著者名、共著者名、~~表題~~、誌名、卷、号、頁、発行年

凶版典捌

図1 著者名・書名、発行所、頁、発行年
図2 著者自作

注・引用文献・図版典拠の見出しは
8pt. ゴシック(英文・サンセリフ)

縦組本文頁

本文中の注記箇所に「注」の様に肩付き文字

左余白
23mm

段間
9mm